

令和6年度 浜の活力再生プラン優良事例表彰 取組概要

宍道湖流域水産業再生委員会



地区の概要



- 島根県東部に位置する宍道湖はシジミ漁業が盛んであり、漁獲量は10年連続全国1位を誇るとともに、宍道湖産ヤマシジミは地域にとって重要な特産品。
- 貧酸素化や藻類・水草類の異常繁茂等の影響を受ける中で、シジミの資源量の安定化を実現すべく、漁場保全や資源管理に取り組むとともに、単価向上に向けた品質向上、販路の多角化等にも挑戦。
- 宍道湖漁業協同組合、松江市、出雲市、島根県で構成される地域水産業再生委員会が取組を推進。

主な取組の概要

漁場保全・資源管理の取組

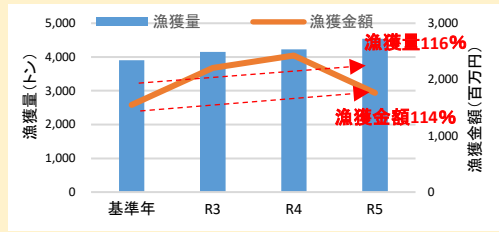
- ・汽水湖である宍道湖は、ヤマシジミの一大産地として知られているが、環境変化の影響が大きく、塩分変動による餌料環境の悪化や高水温等による湖底の貧酸素化の発生等に伴う資源量の不安定化と漁獲量の減少が課題。
- ・近年、藻類・水草類の異常繁茂による操業可能範囲の縮小が漁獲量減少に直結。→ 貧酸素化防止のための湖底耕耘の実施や、県水産技術センターと連携し作成した水草管理マニュアルに基づき、**毎年約15トン**を漁業者自ら除去する等漁場保全活動を実施。また、天然採苗と生息適地への稚貝放流による資源増殖や、資源量調査に基づく資源管理(漁獲量、操業日数、ジョレン目合の規制)も実施。
- これらの取組により資源量が回復し、**漁獲量は116%に上昇**(H27~R1平均: 3,904トン→ R5: 4,539トン)、**漁獲金額は114%に増加**(H27~R1平均: 15.5億円 → R5: 17.6億円)。



天然採苗と稚貝放流による資源増殖



藻類・水草類の除去



シジミの漁獲量と漁獲金額の推移

宍道湖しじみ販売促進の取組

- ・国内全体でのシジミ需要減や他産地との競合により単価が低迷。→ 品質向上のため、選別の徹底による斃死貝の混入防止や規格統一、需要の高い大型シジミの出荷割合増加、貝に優しい水流式の漁獲方法を開発。
- ブランド力の強化とともに、公式オンラインショップでの冷凍販売、ふるさと納税、レトルトしじみ汁の商品開発などの**販路多角化に取り組む**、漁協直販事業の**販売金額は191%に増加**(H27~R1平均: 1,516万円→R5: 2,903万円)。
- SNSによる情報発信等のPR活動のほか、漁業者有志で結成したPR推進チームが「しじみの日」としてシジミ漁の実演、シジミ汁配布イベントや小学生向けの体験学習会を年20回開催し、**認知度向上や消費拡大**を企画。



水流式操業



冷凍シジミのオンライン販売



「しじみの日」イベントの様子